

【所属名：能生事務所 有線テレビ係】

【会議名：令和4年度第2回放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会】

会 議 録

作成日 令和4年11月24日

日	令和4年11月21日（月）	時間	13：30～15：00	場所	能生生涯学習センター 2階 能生地区公民館
件名	議題1 報告事項（公開） (1) 施設運営について 9月末の加入状況、伝送路点検完了報告、上半期の障害発生状況、ONU更新計画 (2) 放送番組について 糸魚川市駅伝大会生中継実施、能生ふるさと海上花火大会生中継実施、加入者アンケート予定 議題2 審議事項（公開） ・放送番組審議「ニューストップックス」、「糸魚川市駅伝競走大会ダイジェスト」				
出席者	【出席者】 4名 放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会委員 猪又委員、齋藤委員、真見委員、吉田委員（欠席：中村委員） 【事務局】 6名 総務部 渡辺部長 総務課 大平係長 能生事務所 高野事務所長、武藤係長、池亀主査、磯谷主査				
	傍聴者定員		－ 人	傍聴者数	－ 人

会議要旨

1 開会（13：30） 高野事務所長
2 総務部長あいさつ 渡辺総務部長
3 会長あいさつ 吉田会長
4 議事 報告事項 ・施設運営について ・放送番組について 【事務局】9月末の加入状況、伝送路点検完了報告、上半期の障害発生状況、ONU更新計画を説明 【出席者】意見等 委 員）アンケートの対象者はどのような基準で抽出するのか。 事務局）年代、性別、地域を考慮し、18歳以上の1,000人を対象としたい。 委 員）設問内容は決定しているのか。 事務局）現在、検討しているところ。 委 員）できるだけ掘り下げた内容で、加入者の具体的な意図が伝わる内容にしてもらいたい。

前回の内容を踏まえた形で検討してもらいたい。

委員) 設問内容について、委員は予め見せてもらえないか。

事務局) 起案したものを、後日、確認していただくよう配付する。

委員) 放送番組の中身をはじめ、技術的な部分も含め、細かな設問になって大変かもしれないが、できるだけ意見が反映されるように検討していただきたい。

5 審議事項

・放送番組「ニューストピックス」について

【事務局】資料に基づき放送番組「ニューストピックス」について説明後、番組(15分間)を視聴

【出席者】意見等

委員) 能生谷芸能祭は、ニュースだけでなく特集番組の要望があった。可能か。

事務局) 主催者の投稿ビデオであり、今年度は特集番組用にノーカットでの撮影をお願いしていなかったため特集番組は厳しい。来年度は検討したい。

委員) 出演者は一生懸命に稽古をしてきているので、ニュースだけでなく特集番組も要望する。

事務局) 似たような催し物の能生地域市民芸能祭は、特集番組で放送している。

委員) 職員だけの撮影は限界があるかもしれないので、関係者に協力してもらって番組作りをしていってほしい。

委員) CM放送は、時間調整のために入れているものか。

事務局) 有料広告放送は、定期番組である「ニューストピックス」の中で1申請あたり15秒の枠を設けて企業様に募集している。申請いただければ、その都度放送している。

委員) 「糸魚川まちあるき」のニュースを見て、小泊地区の中が迷路のようになっていると知り、行ってみたいと思った。

事務局) 投稿していただいた映像を見て、段差のある独特な街並みに非常に興味を持った。

委員) 地区外の人が見ても非常に魅力的な街並みだと思うので、どんどんPRして欲しい。

委員) 南能生小学校ヒツジの卒業式の話では、映像を通して児童がヒツジを愛おしく思っている様子がよく伝わってきた。

委員) 「菊花展」のインタビューは、菊作りの苦労や家族の協力の様子がよく伝わってきた。

事務局) 取材の中で、「菊の町づくり」の思いを発信していただくと反響や同調がより強く得られるように思う。インパクトがある。

委員) オープニング映像は、今の季節感に合っていてよいと思う。

・放送番組「糸魚川市駅伝競走大会ダイジェスト」について

【事務局】資料に基づき放送番組「糸魚川市駅伝競走大会ダイジェスト」について説明

【出席者】意見等

委員) ダイジェストに関する意見ではないが、当日の生中継でも全チーム全ランナーの中継の模様を放送できないかと、市民から意見を預かってきた。上位チームを追いかける形でテレビ中継が進むため、下位チームは残念ながら当日はテレビに映ることができない。

中継スタッフを増やしたり、機材を増設したりすることで解決できないか検討してもらいたい。

事務局) 移動中継車両を使った無線電波であれば可能だが、光ケーブルの上り回線を使う有線方式

により映像を送っているため、中継機材の移動が容易にはいかない。

生中継は能生事務所の職員ほぼ全員で行っており、現在の人数と班体制では一つの班が受け持つ中継点が2か所から3か所となることから、トップのランナーの中継に間に合うように次の持ち場に移動すると下位チームに映像を戻すことができなくなる。

今回は、ゴール地点の選手が途切れた時に、一つ前の中継点の鬼舞に映像を戻すことができたが、1区間以上の差がでることも稀で、映像が行ったり来たりすると中継が混乱することも危惧される。

中継班を現在の4班体制より増やすとなると、スタッフ人数、カメラなどの機材、車両の確保の面から現段階では厳しい。

事務局) 仮に中継班を増やしたとしても、例えばトップのチームがゴールするのと、別の中継点でのたすきリレーが同時刻に行われた場合など、全選手の様子を生中継するのは物理的に難しい。

委員) ゴールを含む終盤の4か所については、中継班は最後まで移動しないということなので、4分割画面で放送するというのはどうか。

事務局) 文字テロップなどの機器の増設や更新などが必要になることが予想される。

委員) 無線で映像を送る方法はできないのか。

事務局) 鮮明なテレビ画像となるとデータが大きく、専用回線がないと映像が安定しない。

生中継では、全チーム全ランナーの中継を放送できないので、今回審議いただいている「ダイジェスト版」を放送している。

委員) できるだけ大勢の選手が生中継で紹介できるように、可能な範囲でカメラの切り替えを駆使してもらいたい。

委員) 特に駅伝大会関連の番組は、視聴者の関心が高いので頑張ってもらいたい。

委員) ダイジェスト番組は、中継点に走ってくる選手のアップの場面が多かった気がする。

編集で、中継点付近を中心にしているせいなのかもしれないが、周りの雰囲気や伝わりづらかった印象。アップにし過ぎて、大会役員にピントが合っていた場面も多かった。

柱道の中継点は、手前が上り坂になっており選手がギリギリまで見えないのでカメラの配置を道路の反対(能生川)側にしてはどうか。

鬼舞の中継点は、コースの設定上、カメラを左右に振らなければならないことから、選手にピントを合わせると、中継点付近の応援者や関係者など周りの人が見づらかった。

画面右上の文字が、選手の顔に重なっている場面があった。

中継点の切り替わりで出る「コース案内図」がわかりやすくよかった。

アナウンスは、レース展開が読めずリハーサルもなかなかできない中、どの中継点も落ち着いていて聞きやすかった。チーム名、選手名の紹介もあってわかりやすかった。

選手の皆さんが、笑顔でゴールする姿などは久しぶりの大会を楽しんでいる様子が伝わりよかったと思う。

事務局) アナウンサーが、選手のNo.カードや表情がわかりやすいように極力アップで撮影するよう係から担当者にレクチャーしていた。

文字が選手の顔に重なることに関しては次回以降、注意していく。

委員) 以前、アナウンスについて注文を付けたことがあるが、今回はハキハキしていたうえ、色々な情報も盛り込んでいただき非常によかった。

6 その他

【出席者】特になし

【事務局】特になし

7 閉会（15：00）